



2019年7月30日

各 位

上場会社名 双信電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上岡 崇
 (コード番号 6938 東証第1部)
 問合せ先 経営推進本部長 中西 港二
 (TEL 03-5730-4500)

業績予想の修正および繰延税金資産の取り崩しならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年4月26日に公表した業績予想を修正しましたのでお知らせします。
 また、上記業績予想の修正等を踏まえ、繰延税金資産の一部取り崩しと2019年4月26日に公表した配当予想を修正しましたので、併せてお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	0	0	△100	△6.41
今回修正予想(B)	4,300	△250	△250	△520	△33.33
増減額(B-A)	△500	△250	△250	△420	—
増減率(%)	△10.4	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	5,131	62	93	3	0.25

2020年3月期通期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,200	250	250	50	3.21
今回修正予想(B)	9,400	△150	△150	△640	△41.03
増減額(B-A)	△800	△400	△400	△690	—
増減率(%)	△7.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期通期)	10,112	200	242	23	1.53

2. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正理由

当第1四半期(累計)連結業績は、主にパワーエレクトロニクス事業のノイズフィルタ、情報通信事業の厚膜印刷基板と積層誘電体フィルタが想定に比べ減少しました。

ノイズフィルタの主要市場である工作機械や半導体製造装置の市況は、中国経済の減速や世界的な半導体メーカーの設備投資抑制などの影響で、昨年下半年から落ち込みが顕著になり年明け以降更に悪化しました。このような状況を踏まえノイズフィルタの想定は、市況の回復は織り込まず昨年度第4四半期並みの低調な市況をベースにしましたが、当第1四半期は米中貿易摩擦が一層激化した影響などにより市況が一段と悪化したため減少しました。また、中国を主な市場としている通信端末用厚膜印刷基板も同様に市況悪化の影響により減少しました。

積層誘電体フィルタは、主に米国衛星放送用が減少しました。米国衛星放送は、安価なインターネット配信サービスの台頭により加入者が漸減していることから減少を見込んでいましたが、想定より減少が進みました。

これらの状況は第2四半期も継続すると判断し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益いずれも前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益には、後述する繰延税金資産取り崩しの影響1億17百万円を含んでいます。

3. 2020年3月期通期連結業績予想の修正理由

通期連結業績予想は、年明け以降に緩やかな市況回復を見込みますが、当初予想までの回復には至らないと判断し、上記第2四半期(累計)の連結業績予想の修正と併せ、予想を修正しました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益には、上期の繰延税金資産取り崩しの影響1億17百万円を含み、また、米国におけるフィルムコンデンサの取引価格に関する訴訟が進展する可能性を踏まえ、訴訟対応費用を2億円増額して見込んでいます。

4. 繰延税金資産取り崩しについて

上記業績予想の修正を踏まえ、現時点での将来の課税所得を保守的に見積もり、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産1億17百万円を取り崩し、同額を法人税等調整額に計上しました。

この影響により、当第1四半期(累計)連結業績の親会社株主に帰属する四半期純利益が1億17百万円減少しました。

また、2019年4月26日に公表した業績予想に比べ、上期および通期業績予想の親会社株主に帰属する四半期純利益、当期純利益が1億17百万円減少しています。

5. 配当予想の修正内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2019年4月26日発表)	3円	3円	6円
今回修正予想	2円	2円	4円
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	4円	4円	8円

6. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけたうえで、今後の業績動向や事業展開などを総合的に勘案して、継続的に安定した配当を実施することを基本方針としています。

この方針に基づき配当は継続させていただきますが、当期の業績予想は上記の通り上期、通期の各利益とも赤字を計上する厳しい見通しとなりましたので、中間配当予想を前回予想に比べて1株当たり1円減配の2円、期末配当予想も1株当たり1円減配の2円とし、通期で1株当たり4円とさせていただく予定です。

早期の業績回復を目指し努力して参りますので、皆様のご理解を賜りたくお願い申し上げます。

(注記)

業績予想は、現時点で得られた情報にもとづいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以 上